



# 清 風

南砺市立上平小学校  
学校だより 令和元年6月  
上平小学校ホームページ  
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp/>

## 子供たちの姿から感じた“大切な事”

校長 林 秀次

月曜日の朝、3年生は、自分の育てているカイコが入っている箱を大事そうにしっかりと抱えて登校してきます。カイコの箱の中をきれいにしたり、カイコの数を何回も数えたりしている子供たちの姿や、桑の葉をどうすればよいか、友達同士で話し合っている子供たちの姿を毎日見ることができます。

先日、3年生の子供たちに、「カイコの目はどこにあるの？」と聞いてみました。何人もの子供がカイコの目の位置について、自分の知っている言葉を使って身振り手振りも交えながら一生懸命教えてくれました。子供たちはカイコについて一生懸命調べたのでしょう。この生き生きとした姿が本当に印象に残りました。

私は、この子供たちの姿から、どの学習においても共通する大切な事を感じることができました。それは、『本当に大切にしたいと感じると、子供たちの中に、自分から主体的に取り組み、他者と関わり合いながら考えを深めて行くという学びの活動が生まれる。』ということです。自分が真剣に取り組んだことは、真剣に伝えたい、分かってもらいたいと考えます。そして、そのためにどうすればよいかを工夫します。その中で他者との関わりが生まれ、さらに思考が深まります。このことこそがこれからの社会を生きて行く子供に必要なことで、新しい学習指導要領が目指していることです。

地域と保護者、学校とが手を携えて育ててきたこの力をさらに伸ばしていくことができるよう、教職員一丸となって子供たちの成長のために取り組んでいきたいと考えています。

## つぶやきから広がる学び

1年担任 本田 千尋

子供たちが入学してから、2か月が過ぎました。子供たちにとって初めての連続ですが、上学年の子供たちに優しく教えてもらいながら、元気に学校生活を送っています。

最近、生活科の勉強で育てているアサガオの水やりを毎朝楽しみに行っています。先日アサガオの観察をした際に双葉を見た子供たちが「ハートみたいな形だね」「かわいい形だね」とつぶやいていました。友達の発言を聞き、「本当だね」「たしかに」と笑顔で関わる子供たちの姿も見られました。これからも子供たちの気付きやつぶやきを基に子供たちが関わり合い、新たな学びがたくさん生まれるようにサポートしていきたいと思います。

